

英語多読で、英語を使う機会を日常に。

TSUCHIDA, Yasuko

土田 泰子



キーワード

コミュニケーション / 英語多読 / 生体信号計測

分野等

コミュニケーション

email

ytsuchida[at]nagaoka-ct.ac.jp

※ [at] を @ に変えてください

研究分野

主にポスターなどの視覚メディアによる表現と、その受容に関する研究を行っています。英語教育の分野では、英語多読により継続的な語学学習を行うための試みとして、効果的な導入方法について研究し、学習者が意欲的・主体的に学習を継続できるカリキュラムを検証しています。

また、学習者がどのように英文を読むのか、どのような行動や能力を客観的に分析するため、脳波や視線といった生体情報を計測して特性を明らかにする研究も行っています。

興味のあること・技術 PR

「伝える」と「伝わる」の間にあるもの、そして「伝わる」の先にあるものについて、メディアという表現の観点から、受容システムという人間工学の観点から、またコミュニケーションという相互の関連性の観点から検討しています。

【実験装置など】

生体信号収録装置 Polymate Pro MP6000

視線計測装置 Tobii Pro Fusion 250

視線計測装置 DITECT QG-PLUS Mini

特別設備

本校図書館には、英語多読用の図書があります。英語多読とは、簡単な英語で書かれたものから読み始め、「簡単で短い本」→「簡単で長い本」→「少し難しい本」のように、少しずつレベルアップしながら、たくさんの本を読む、という読書法です。日本語を介さずに英語を理解する力や、英文を読むリーディングスピードを高める効果が期待できます。

企業との連携実績

大人を対象とした講座として、英語多読の取り組み方をご紹介します。

職名 教授

学位 博士(学術)



生体信号計測実験の様子



視線計測装置



長岡高専図書館 英語多読コーナー 1

企業へ向けて

研究分野と特別設備の項目で紹介している「英語多読」は、社会人にとっても有効な学習法です。ジョギングで心肺機能を高めるように、英語多読では脳が目から入った英文を情報として処理する能力をトレーニングします。たくさん読んで慣れることで、英文を読むことへの抵抗を減らします。日本語に訳すことなく、英語の語順のまま理解していくスキルが身に付くと、英文を読むスピードが格段に向上します。音声データのある多読図書を使うと、リスニングの能力も合わせて工場させることが可能です。英語多読では、レベル別に分けられた本を使って、やさしいレベルから読み始めます。辞書は使わず、文脈や挿絵から推測する経験を重ねて語彙を増やします。理解できる語彙が増えることで、英語で話したり書いたりする際の語彙も増えます。英語多読用に用意された図書を使用するのが効率的ですが、そのような図書を個人で用意するのは大変です。長岡高専の図書館や、長岡市立中央図書館の英語多読コーナーを活用すると、無理なく簡単に取り組むことができます。

つながりたい分野（産業界、自治体等）

自分のペースで英語力を伸ばしたい、英語多読を活用してみたい、という場面で、何か連携できることがあります。



長岡高専図書館 英語多読コーナー 2



長岡高専図書館 英語多読コーナー 3